

## ニラの株分け更新は冬の間



肉との相性が良く、スタミナ料理などで親しまれるニラは多年生です。強健で、一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園向きの野菜といえます。

しかし、いくら強いといっても、2〜3年取り続けると、株が密生状態になり、幅広で厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまう。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが得策です。

株分けに一番良い時期は、葉が枯れ、根株が休眠状態に入っている冬の間です。このころは、根に栄養が十分に蓄えられていて、断根や分割という荒療治をしても傷みが少なく、作業しやすいからです。

株分けの仕方は、まず地上に残っている枯れ葉を、5cmくらいの高さできれいに刈り取ります。そして、株の周りにくわかスコップを大きく打ち込んで、根株を土から掘り起こします。根は強大で密に広範囲に張っており、すべてを一気には掘れないので、途中で切断しても構いません。掘り上げたら土をはたき落とし、指先に力を入れて大割りし、さらに小割りして、図のように2〜3本ず

つに分割します。これを2〜3個まとめて20〜25cmの株間に植えつけます。

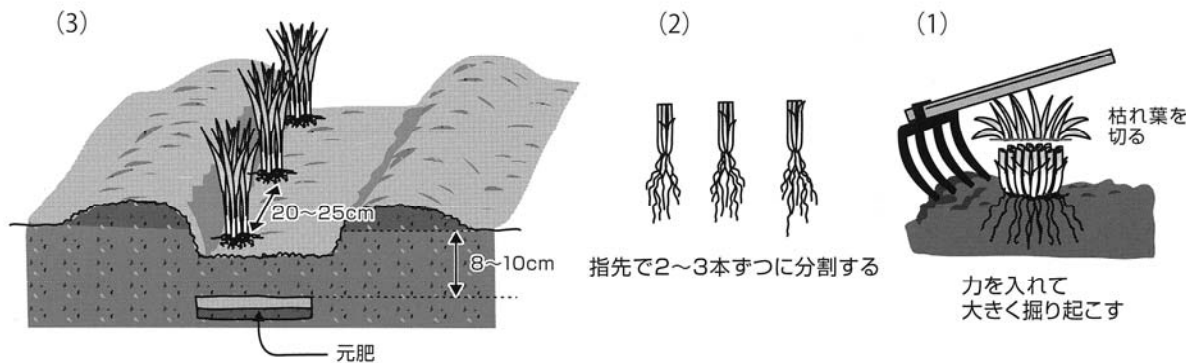
植え溝は、事前に8〜10cmくらいの深めに掘り、元肥として堆肥(たいひ)や油かす、緩効性の化成肥料などを十分に施しておきます。植え際には、根株を束ねないで平置きするように心掛けましょう。

溝は深めに掘って、植えた根株を寒気や乾燥から守るようにします。覆土は株の上部がやや出るくらいにとどめておき、やがて新葉が伸びだしてきたら、葉先を埋めないよう注意しながら、2回ほど覆土をして溝が埋まるように管理します。

そうすると、春には見違えるほど勢いのよい、良質のニラを収穫することができま

す。株が増えたら、黒色フィルムを二重掛けにし、陽光を完全に遮って黄ニラを育ててみるのも楽しいものです。

なお、販売用の高品質なもの、毎年種まきして育てた苗を植えて1年間収穫するだけで、通常、古株は利用していません。(16W×55L)



板木技術士事務所 ● 板木利隆